

にちにちこれこうじつ 日日是好日



群馬県立桐生特別支援学校
令和5年 6月19日
校長日より No. 7

プールの準備ができてからも、お日様に恵まれず、なかなかプール入れないことが梅雨時期は続きます。浮き輪を片手にニコニコとバスを降りてくる児童を見ると、水泳を楽しみに登校したんだろうなと思います。6月13日の午後、中学部生をかわきりに3年ぶりの水泳指導が始まりました。様子を見に行くと、みんな気持ちよさそうに水を楽しんでいました。午前中にジャガイモ掘りをして汗をかいたので、午後の冷たい水は余計に気持ち良かったことでしょう。学校では毎朝担当の先生が、塩素濃度を測定したり、ごみが入っていないか点検したり、プールの管理をしています。プールの開場は一学期末までなので、期間としては昔より短いのですが、安心・安全な水泳指導が行えるように努めていきます。

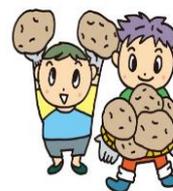
6月9日に学校経営アドバイザーの土橋恵津子先生（前聾学校長）がおみえになりました。今年度に入って、県内の特別支援学校をもう半数以上訪問されたとのこと。土橋先生は桐生市出身です。校長として、あさひ特別支援学校に勤務されていたこともあり、桐生市にある特別支援学校として、本校が担うべき役割についてアドバイスいただきました。本校のWebページも読んでいただき、普段の教育を充実させることはもとより、Webページや新聞等で広く学校の取組を情報発信することで、特別支援教育への理解啓発を図ることが大切であることを教えていただきました。また、校舎を共にしている菱小学校の通級指導教室、地域の小中学校との交流の推進方法などについて相談させていただきました。お話を伺いながら、あらためて桐生の人は、地元をとっても大切にしている、地元をみんなで盛り上げようとする郷土愛が強いことを感じました。

7月に八木節交流があります。桐生人であることを感じられる一つの柱として、今後さまざまな機会に本校の児童生徒が音頭に乗って、他校の児童生徒や地域の方と一緒に楽しめる機会を作っていけないか検討していきたいと思っています。

12日は加藤PTA会長とPTA担当とともに、3人で、「群馬県特別支援学校PTA協議大会」の役員打ち合わせに二葉特別支援学校へ行ってきました。加藤PTA会長は、今年度同会の副会長です。7月の協議大会に向け役割分担を確認してきました。いろんな大会が、コロナ禍で縮小傾向となっていますが、県内の全ての特別支援学校PTAが集まる貴重な大会ですので成功を期待しています。

本校はPTA新聞を発行していないので、PTA活動の様子についても、「校長日より」で紹介していきたいと考えています。

先週、学校ではジャガイモの収穫をするクラスがありました。小学部のあるクラスでは、畑でとれたジャガイモを早速調理していました。様子を見に行くと、一人一個ずつ丁寧に洗って調理の準備をしているところでした。自分が育てた野菜を調理して食べるのは楽しみです。



中学部は農園で大々的にジャガイモを育てていたため収穫も一苦労。13日にみんなで収穫に臨みました。そして、木曜日の作業学習で小袋に分け、校内で販売しました。

7月は、「七夕集会」があります。本校では毎年、近隣のお宅から大きな竹をいただいているそうです。大きな竹は見応えがありますね。これも自然に恵まれた環境にある学校ならではの活動です。私は小学校で集会活動を担当することが多かったため、6年生と竹の切り出しに行ったり、休み時間に集まって飾りつけをしたりしたことを懐かしく思い出しています。伊勢崎市の小学校では、大きな吹き流し飾りを児童会で制作して、学校ごとに大通りの七夕会場に飾っていました。飾り作りだけではなく、願いごとを何にするかも悩むところです。桐生の児童生徒はどんな願いごとを書くのか楽しみです。